

『樋口一葉日記』は、台東区ゆかりの文学者、樋口一葉（1872-1896）による、没後に発表された日記で、文学的にも高い評価を受けています。

本企画展では、日記から見えてくる地域情報を中心にとりあげ、作品世界に生かされた記述なども紹介します。さらに、同時代の地図や挿絵・浮世絵などもあわせて紹介します。

初版は明治25年（1892）。女子用の手紙の模範文例集



樋口一葉『通俗書簡文』大正2年（1913）、第37版

## トーク・イベント 「一葉日記を読む」

参加  
無料

内容 3名の講師が、それぞれの視点から樋口一葉日記をひもときます。

- ①「一葉の歩いた場所—文京・墨田・台東区—」  
講師 平野 恵(当館郷土・資料調査室専門員)
- ②「一葉ブック・トーク」  
講師 児玉ひろ美(当館司書)
- ③「江戸から読む樋口一葉」  
講師 鈴木 淳(国文学研究資料館名誉教授)

日時 平成30(2018)年2月25日(日) 14時～16時

会場 台東区生涯学習センター 301研修室

定員 50名(事前申込制、抽選)

申込 往復はがき(一人一枚)に「トーク・イベント」と明記し、氏名・住所・電話番号を記入の上、下記まで。またはホームページから応募。

締切 2月14日(水)17時まで。

## 専門員による スライド・トーク

内容 展示の見どころをスライドで解説します。

日時 平成30(2018)年1月11日(木)、3月8日(木)  
13時30分～14時

会場 台東区生涯学習センター 504教育研修室

定員 先着40名

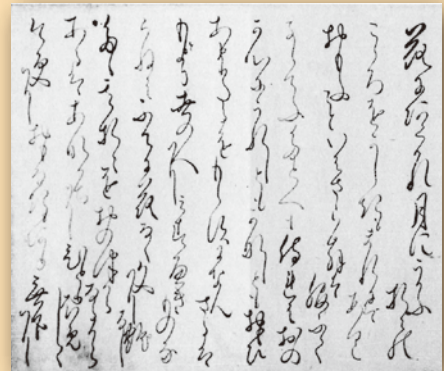
申込 不要

一葉が通った歌塾「秋の舎」の中島歌子の名前が掲載される



明治16年(1883)『明治文雅姓名録』

日記執筆の動機に、「花」にあくがれ月にうかぶ」と和歌的美意識を含ませている



一葉日記「若葉かげ」明治24年(1891)4月11日

※『一葉日記』は、すべて岩波書店影印版より転載(パネル展示)

明治25年(1892)4月、一葉は、上野公園の夜桜見物に出かけた



明治21年(1888)「上野公園の夜景」



台東区立中央図書館2階 郷土・資料調査室

台東区西浅草 3 - 25 - 16 ☎03 - 5246 - 5911

<http://www.city.taito.lg.jp/index/library/index.html>

【開館時間】 月～土曜：午前9時～午後8時 日曜・祝日・年末年始：午前9時～午後5時

【休館日】 12月31日(日)～1月2日(火)・1月18日(土)・2月15日(日)